

生き方 小学校



小学校中学年以上

中学校

道徳

総合

みんな生きています

🕒 15分

命の恵みをいただきます

(2006年放送)

この番組の良さ



「いのち」とは何か

この番組は、命とは何かということについて、改めて考えさせられる内容になっています。ふだん何気なく食べている物は、かつて「いのち」を持っていたことに気づくことができ、人はいろいろな生きものによって、支えられているということを考えることができます。

「いただく」とは何か

命あるものの命を奪って、生きものは命をつないでいます。それは人間だって同じことです。食べるということは、尊い命を「いただく」ということです。また、自分たちの食事を作ってくれる人や、飼育、栽培を行っている人など、自分たちを支えてくれている人にも感謝の気持ちを持つことができます。

番組活用のポイント

身近なところから

この番組を視聴する前に、家庭で飼育している生きものについて考えてみるといいでしょう。家庭での飼育経験が少ない子どもたちには、生活科や理科で行った飼育、学校で飼っている生きものを思い出させてもよいでしょう。

生きものの飼育から

生きものを飼うということは、その生きものの命を預かるということです。毎日エサをやり、掃除をして育てなければなりません。また、生きものの様子を観察したり、様々なことに適切に対応したりしなければなりません。自分のことで精一杯になりがちなお子さんにとっては、難しいこともあります。しかし、それだけに、生きものと接することを通して、「いのち」の大切さや、働きかけに対する生きものの反応に、喜びを感じることができると思います。

生命の尊さから

河内山拓樹君の家は自然に囲まれた環境にあり、ヒツジやニワトリを飼い、野菜や米などを作って、家族で自給自足の生活を送っています。植物も動物も命は無駄にしないというお父さんの信念のもと、拓樹君もハーブやニワトリなどの世話をしています。年をとって卵を産めなくなったニワトリは、さばいて肉にしています。大切に育てたニワトリをつぶして食べるという行為に対して、子どもたちの反応が賛否分かれると思います。お互いの思いをぶつけ合ってもよいでしょう。また、授業後の発展として、学級園での栽培や生きものの飼育、また、家庭科や学級活動で、食育の学習に取り組んでみてよいでしょう。

(溝内正剛)

学習展開例

授業時間 45分

いきることとたべること 自分たちを支えてくれている人といのち



時間配分	学習活動	教師の支援
5分	<p>①生きものを飼育した経験について発表する。</p> <p>②飼育を通して感じたことや、思い出について意見を出し合う。</p>	<p>○視聴する前に、飼育経験や、飼育してきた生きものの種類について発表させる。</p> <p>○生きものへの思いを自由に話し合わせることで、生きものへの愛情や、命の尊さについて考えさせる。</p>
17分	<p>③番組を視聴しながら考える。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・河内山拓樹君の一家が自給自足の生活を送っている場面。 (開始～3分37秒)</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・農場での生活の様子や、お父さんがこちらに移り住んできた理由についての場面。 (3分37秒～8分21秒)</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・ニワトリをさばく理由とさばいたニワトリを食べる場面。 (8分21秒～終わり)</p> </div> </div>	<p>○3分37秒の「みんなモリモリよく食べる。」のナレーション後、一時停止を行い、自給自足の意味説明をする。また、「山の恵みと大地の恵みとみんなでごはんが食べられることに感謝します。」の意味、自分たちが作った物を食べることについても考えるよう話す。</p> <p>○8分21秒で一時停止を行い、「植物も動物も命は無駄にしない。」と言ったお父さんの信念や、「自分の命を支えてくれるのが生きものであり、それには、人の労働がかかっているということ、知ってもらいたい。」と願っているお父さんの気持ちを、考えながら視聴するよう話す。</p> <p>○年をとって卵が産めなくなったニワトリを、いのちを奪って肉にすることについてどう思うか、拓樹君の心の葛藤も考えながら視聴させる。 ※9分43秒から10分24秒まで、ニワトリを絞めるシーンが出てくるので、子どもへの配慮が必要である。</p>
18分	<p>④番組視聴後、感想を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河内山君一家の生き方について、感想を話す。 ・「命を無駄にしない。」と言った、お父さんの気持ちについて話し合う。 ・卵が産めなくなったニワトリをさばいて、食べることについて、討論を行う。 ・食べ物だけに限らず、自分たちを支えてくれている人や物について考える。 	<p>○なぜ、お父さんは自給自足の生き方を選んだのかを考えさせる。</p> <p>○食べるということは、生きているものの「いのち」をもらっていることに気づかせ、食べ物を粗末にしない、好き嫌いをなくすよう努力することを指導する。</p> <p>○生きものの命は大切にしないといけない。でも、年をとったニワトリは、さばいて肉をとらないといけない。拓樹君の心の葛藤について十分考えさせ、話し合わせる。答えは出さなくてもよい。</p> <p>○自分たちの周りにも目を向けさせ、支えてくれている人や物についても考えさせる。</p>
5分	<p>⑤学習のまとめと振り返りを行う。</p>	<p>○学んだことをノートなどにまとめ、自分の考えも書かせる。</p>